

京丹後市への米軍Xバンドレーダーの運用開始に抗議する

2014年12月26日
日本共産党京都府議会議員団
団長 前窪義由紀

本日、米軍経ヶ岬通信所へのXバンドレーダー（TPY-2レーダー）の配備準備作業が完了し、午後9時から本格運用を開始することを、防衛省が京都府に通告した。

我が党議員団は、満身の怒りをもって断固抗議する。

防衛省が発表した文書に、Xバンドレーダーの稼働により「日米双方の更なる弾道ミサイル防衛能力の向上に寄与する」と述べているように、集団的自衛権行使や憲法改正への強い決意を示している安倍政権のもとで、自衛隊が米軍と肩をならべて戦争を行う道へと進もうとする動きであり、日本の安全を脅かし、アジア諸国からの信頼をも損なうことになる。

しかも、12月23日に京丹後市で米軍基地建設反対の大集会が開かれた直後に、本格稼働させることは、府民の「米軍基地はいらない」「安心安全は大丈夫か」などの怒りや不安を二重三重に踏みつけにするものである。

我が党議員団は、「オール沖縄」の米軍基地建設反対の闘いをはじめ、全国の闘いと連帯し、基地の運用中止、基地撤去を実現するため、いっそう全力をあげるものである。

以上